



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,083	17.2	3,282	33.9	3,206	33.6	2,040	63.0
2024年3月期第3四半期	6,895	19.8	2,451	26.4	2,399	26.6	1,251	9.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,040百万円 (63.0%) 2024年3月期第3四半期 1,252百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	73.77	73.77
2024年3月期第3四半期	45.29	45.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,436	14,626	53.2
2024年3月期	26,901	12,789	47.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 14,589百万円 2024年3月期 12,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,690	12.0	4,415	24.8	4,323	28.0	2,777	45.6	100.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	27,773,500株	2024年3月期	27,773,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	115,322株	2024年3月期	115,302株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	27,658,178株	2024年3月期3Q	27,633,591株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られたことから社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化、物価の高騰が慢性化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは第1次中期経営計画のもと、「成長加速のための基盤づくり」に向け、既存事業における収益力の強化を推し進めてまいりました。特に、管理型最終処分場を中心とした廃棄物受託量の拡大に努め、新規大口案件の受託や既存取引先との取引量の拡大により、廃棄物受託量は大きく増加しました。

また、前期第3四半期連結会計期間より業績に反映している遠州碎石株式会社及び株式会社フレンドサニタリーに関しても、安定した事業環境を背景として、堅調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,083百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は3,282百万円（同33.9%増）、経常利益は3,206百万円（同33.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,040百万円（同63.0%増）と増収増益を確保し、第3四半期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

最終処分場においては、旺盛な埋立需要を背景として、建設業界を中心とする大型案件を受託できたことで、廃棄物受託量は大きく増加しました。また、中間処理施設においても、既存取引先からの受託量は安定的に推移しました。以上の結果、売上高は6,325百万円（同6.2%増）となり、セグメント利益は3,597百万円（同11.8%増）となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口取引先に対する価格転嫁が奏功したものの、豪雨等に係る災害廃棄物をはじめとするスポット案件の減少等もあり、受託量は前期に比べ減少しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーの業績が今期より通期で貢献していることから、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は1,464百万円（同76.1%増）となり、セグメント利益は370百万円（同161.2%増）となりました。

③ 仲介管理事業

搬入効率や収益性の向上を念頭に置いた営業活動を強化したほか、定期案件の獲得にも注力したことで、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は94百万円（同3.8%増）となり、セグメント利益は67百万円（同6.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少額472百万円等によるものであります。また、固定資産は17,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,089百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額1,282百万円、のれん等無形固定資産の減少額178百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、27,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,261百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少額2,800百万円等によるものであります。また、固定負債は9,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,960百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加額1,894百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、12,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,301百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は14,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,836百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益2,040百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額1,819百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表しました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2025年2月14日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,787,716	8,315,678
受取手形及び売掛金	1,303,777	1,224,980
棚卸資産	73,837	79,612
その他	273,183	263,648
貸倒引当金	△2,481	△2,193
流動資産合計	10,436,032	9,881,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,005,784	1,003,322
機械装置及び運搬具（純額）	726,225	794,226
最終処分場（純額）	4,870,675	4,665,510
土地	4,577,814	5,032,434
建設仮勘定	2,150,167	3,120,051
その他（純額）	66,759	64,711
有形固定資産合計	13,397,426	14,680,257
無形固定資産		
のれん	1,220,669	1,019,685
施設設置権	80,200	50,125
その他	65,856	118,591
無形固定資産合計	1,366,725	1,188,402
投資その他の資産		
投資有価証券	257,193	257,862
繰延税金資産	669,058	670,095
その他	774,663	757,879
投資その他の資産合計	1,700,916	1,685,837
固定資産合計	16,465,068	17,554,497
資産合計	26,901,101	27,436,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,334	64,351
短期借入金	4,090,000	1,290,000
1年内返済予定の長期借入金	983,224	1,053,664
未払法人税等	752,529	278,027
未払金	334,245	332,118
賞与引当金	126,483	72,972
その他	469,864	458,975
流動負債合計	6,811,681	3,550,108
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,184,421	7,079,273
繰延税金負債	82,502	85,627
退職給付に係る負債	34,222	50,674
役員退職慰労引当金	758,000	758,000
最終処分場維持管理引当金	881,533	936,665
資産除去債務	112,538	112,563
その他	46,410	37,159
固定負債合計	7,299,628	9,259,962
負債合計	14,111,309	12,810,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,909,038	4,919,609
利益剰余金	7,862,738	9,681,785
自己株式	△103,542	△103,572
株主資本合計	12,758,234	14,587,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307	1,412
その他の包括利益累計額合計	1,307	1,412
新株予約権	30,249	36,916
純資産合計	12,789,791	14,626,150
負債純資産合計	26,901,101	27,436,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,895,404	8,083,859
売上原価	2,709,404	3,076,587
売上総利益	4,185,999	5,007,271
販売費及び一般管理費	1,734,780	1,724,478
営業利益	2,451,219	3,282,793
営業外収益		
受取利息	315	1,716
不動産賃貸料	11,012	6,295
固定資産売却益	6,021	7,910
その他	6,663	10,176
営業外収益合計	24,013	26,098
営業外費用		
支払利息	63,602	84,010
その他	12,027	17,901
営業外費用合計	75,629	101,911
経常利益	2,399,602	3,206,980
税金等調整前四半期純利益	2,399,602	3,206,980
法人税等	1,147,940	1,166,667
四半期純利益	1,251,662	2,040,312
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,251,662	2,040,312

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,251,662	2,040,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	457	105
その他の包括利益合計	457	105
四半期包括利益	1,252,119	2,040,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252,119	2,040,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	489,595千円	525,653千円
のれんの償却額	187,468	200,983

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,958,723	831,443	91,476	6,881,642	13,761	—	6,895,404
外部顧客への売上高	5,958,723	831,443	91,476	6,881,642	13,761	—	6,895,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	266,118	7,089	11,923	285,132	103	△285,235	—
計	6,224,841	838,532	103,400	7,166,774	13,865	△285,235	6,895,404
セグメント利益	3,217,833	141,642	63,311	3,422,786	△10,334	△961,232	2,451,219

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△961,232千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	6,325,727	1,464,547	94,966	7,885,242	198,617	—	8,083,859
外部顧客への売上高	6,325,727	1,464,547	94,966	7,885,242	198,617	—	8,083,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	261,174	7,226	23,942	292,343	444	△292,788	—
計	6,586,902	1,471,774	118,909	8,177,585	199,062	△292,788	8,083,859
セグメント利益	3,597,745	370,014	67,490	4,035,249	96,830	△849,286	3,282,793

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△849,286千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。